

2023 年度 自己点検・自己評価報告書

本学は、2018 年 4 月 1 日に開学して、6 年間を経過した。その間、2020 年度以降 2023 年度までに、1～4 期生が卒業した。中期計画は 2020 年度に開始し、2023 年度まで 4 年間を経過した。中期計画の実施状況を振り返っての総括は、以下のとおりである。

(1) 4 年間の中期計画の状況について

① 達成した項目と、達成見込みの項目

- ・達成した項目については、2022 年度自己点検自己評価報告書に記載したとおりである。
- ・達成見込みの項目としては、指定規則の改訂に伴い、2022 年度から新カリキュラムを開始し、2024 年度に完成の予定で、順調に経過している。

② 達成度が不安定な項目

・短大の財務状況

本学が完成して以降の 3 年間、交付された私学補助金は、2021 年度は 3,629 万円、2022 年度は 4,154 万円、2023 年度は 2,836 万円であった。補助金の増減は、在籍者数の変動によるものと推測される。即ち、在籍者数は、2021 年度が 218 名、2022 年度が 229 名、2023 年度が 197 名であった。私学事業団に提出する「教育の質に係る客観的指標」については、可能な限り、改善に努めている。以上の総和として、2021 と 2022 年度の短大財務は黒字に転換した。しかしながら、2023 年度は赤字が見込まれており、安定していない。

③ 未達成で努力が必要な項目

- ・学生の収容定員 240 名の確保
- ・90%以上の国家試験合格率

(2) 本年度の目標について

本年度の目標としては、前述した中期計画の状況、およびその他を勘案し、以下の 3 点を設定する。

- ① 2024 年度認証評価に向けて
- ② 学生の収容定員 240 名の確保
- ③ 国家試験の合格率 90%以上を達成する